

## 特定技能外国人に対する宮城県産食材の提供

採用された外国人の方へ、給与が支給されるまでの期間における支援として、「白石温麺」や「仙台麩」、「宮城県産ひとめぼれ」などの宮城県産食材等の提供を行いました。



12月～3月までの間  
来日された**21名**の方に  
配布いたしました。



## 受入事業所向け補助金の交付

補助対象経費は、特定技能外国人の出入国に伴う渡航費、現地における事前教育費用、登録支援機関委託費用、マッチング成立時における人材紹介料等になります。

補助率は1/3

特定技能生  
1名あたり 上限**12万円**

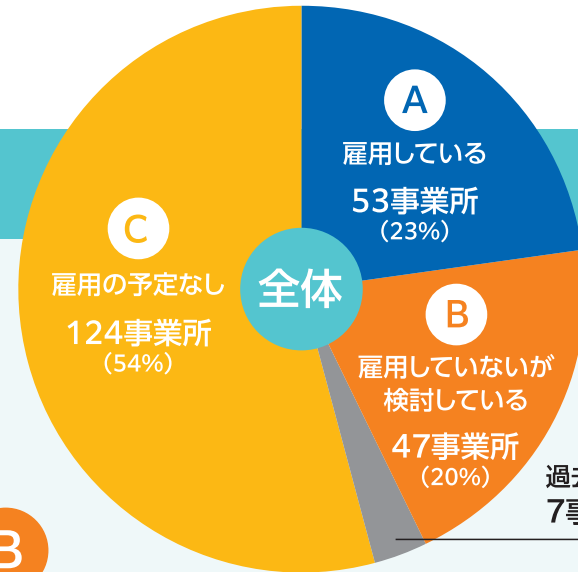
宮城県介護特定技能外国人受入支援事業補助金は、受入時にかかるイニシャルコストの軽減につながります。法人ごとの申請となりますが、ご要望に応じ申請書類作成のサポートをいたしました。

## 外国人材採用に関するアンケートの実施

アンケート実施期間 2023年8月1日～9月22日 有効回答数 231件

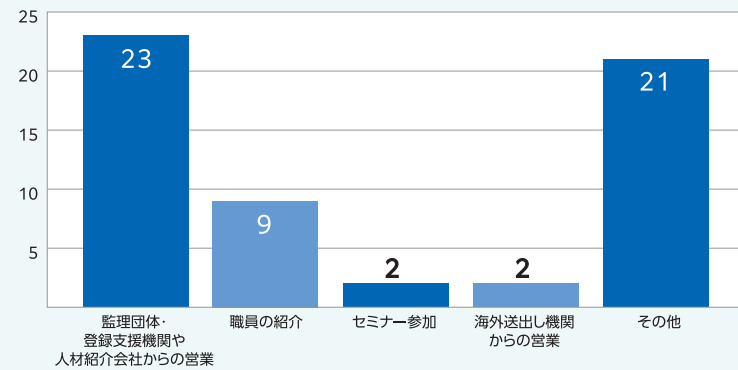
実施方法 ①インターネットのアンケートフォームへの回答 ②メール・FAXによる回答

宮城県内の介護事業者を対象に、外国人材の採用に関するアンケート調査を実施しました。

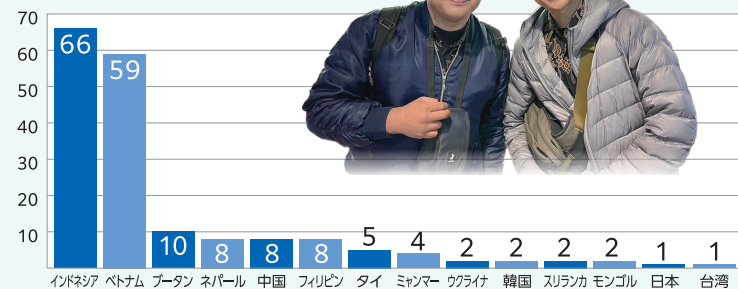


### A 外国人介護人材を採用している事業所

採用のきっかけ(複数回答)

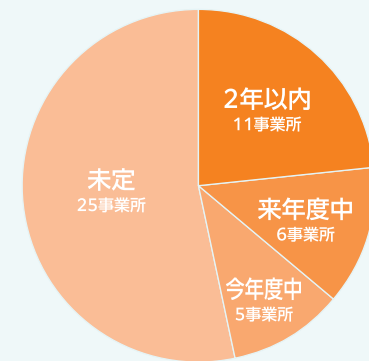


採用した国籍(複数回答)



### B 採用したことはないが、今後の採用を検討している事業所

受入予定時期

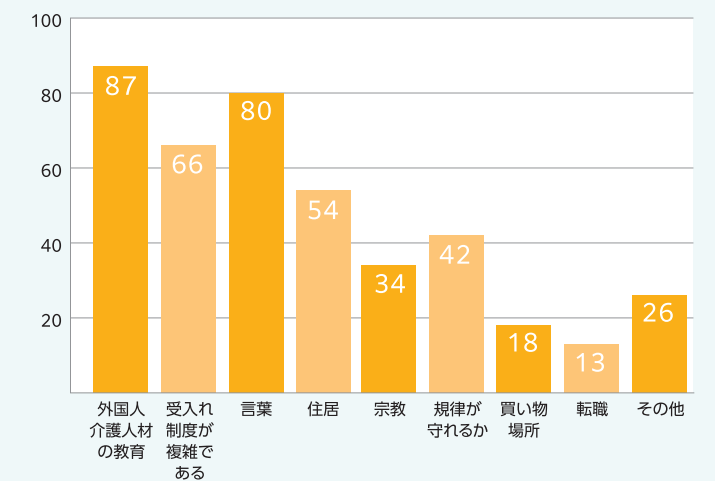


希望する国籍(複数回答)



### C 外国人介護人材を採用したことはなく、検討をしていない事業所

不安に感じること(複数回答)





# 特定技能外国人を採用した事業所の声

本事業に参加し外国人を採用した事業所のご担当者様、及び当該事業所での就労が決定した外国人の皆さんにインタビューを行いました。本報告書では、2事業所5名の外国人の皆さんの声をご紹介します。

## 社会福祉法人 豊明会

## 特別養護老人ホーム桂葉



採用担当

所属 法人事務局

担当者名 長澤 徹様

外国人採用を考えたきっかけは、採用に苦慮しているということが背景にあったことです。地域の中で事業を継続するために人材確保が最優先であると考えました。福祉事業の継続のためには職員の実人数を増やし、外国人材の採用が必要であると考えました。今回宮城県の支援事業に応募したのは、顧問の社会保険労務士の方が登録支援機関を立ち上げ、人材獲得の支援をいただいたことがきっかけでした。今回の宮城県の事業に関しては、外国人の方に対しては、日本語学習や食材の提供といった支援、事業者に対しても外国人採用に関する情報を教えていただき、金銭面でも手厚い支援があったと感じています。今後ともこうした宮城県の制度やつながりを大切にしていきたいと考えています。



出身国 インドネシア  
氏名 ドウウィ・プトリ・シマンジュンタクさん

わたしが日本で働こうと思ったのは、日本のアニメや料理が好きだということがきっかけです。今後は、勉強を頑張り介護の資格を取りたいと考えています。将来的には、この施設のリーダーになって頑張りたいです。日本に来た時に米や調味料、魚などのプレゼントをいただきました。日本のお米はおいしいです。



出身国 インドネシア  
氏名 ニナ・フェブリヤンティさん

日本で働こうと思ったのは日本の景色が好きだったからです。桜や雪などの景色が好きなんです。将来のために現在は、平日でも毎日1時間から2時間勉強をして介護の資格をとるために頑張っています。その他に以前にインターネットで見た河口湖でキャンプに挑戦してみたいと考えています。



出身国 インドネシア  
氏名 ムティア・ウタミ・プトリさん

わたしは大学の時、インドネシアの高齢者施設を訪問し健康とより良い生活のためのアドバイスをもらったことがあります。その時に、高齢者から笑顔と感謝の言葉をいただき、とてもうれしかったです。それをきっかけに介護の仕事をしようと考えました。介護の仕事が増えている日本で働こうと考えました。10年は働きたい、そして介護の資格を取りたいと思います。

## 社会福祉法人 迫川会

## 特別養護老人ホーム いちょうの里



採用担当

担当者名 施設長 伊藤 幸淑様 副主任介護士 久光 真希様

私が施設長を拝命した令和4年4月時点では、働き手の確保が難しい上に2024年4月からの働き方改革によって人材獲得が更に難しくなると予想されたので、日本人の雇用は困難と判断し、外国人採用に踏み切りました。登録支援機関である「東北のかいご協同組合」は、宮城県の支援制度や外国人受入れに関する事務手続きに熟知しており大変助かりました。採用したインドネシアの方はとても穏やかで何事にも丁寧に対応しています。また、仕事をしっかり覚えようという熱心な姿勢は、日本人介護士にも良い影響を与えています。今後、事業を継続していくためには外国人雇用は必須であり、外国人が働きたいと思える環境整備を行っていきたく考えています。



出身国 インドネシア  
氏名 ムハammad・サッドム・ファトゥーロフマンさん

日本は仕事のやり方や教育がしっかりしていると思っています。日本の自然も好きなので日本で働こうと考えました。今の目標は、利用者さんと早く日本語でお話ができるようになることです。わたしは介護福祉士になりたいので勉強もがんばっていきます。初めて日本に来て雪をみて見てびっくりしました、寒いですがきれいですね。



出身国 インドネシア  
氏名 ランガ・プラヨガ・サプトラさん

日本の介護技術は良いサービスだと思います。いちょうの里にはインドネシアから来ている先輩もいましたのでここで働こうと考えました。わたしは介護の勉強をして、ここいちょうの里で介護福祉士になりたいです。宮城県に来るときにプレゼントをもらいました。お米やカレーなど、大変ありがたいと思いました。